
KDDI Smart Mobile Safety Manager

Windows キットインストールマニュアル

最終更新日 2024 年 1 月 14 日
Document ver1.12
(Web サイト ver.9.18.0)

変更履歴

日付	ver	変更箇所	変更内容
2018/12/13	1.0		新規作成
2019/12/5	1.1	1.3 動作環境	対応 OS 追加、修正
		2.1 エージェントをインストールする	認証時エラー画面の追加
2020/1/30	1.2	1.2 OS サポートポリシー	サポート対象例変更 (Window 7 削除)
		1.3 動作環境	OS 変更 (Window 7 削除)
		1.4 動作環境 (Windows Server)	OS 変更 (Windows Server 2008 削除)
2020/6/18	1.3	全体	機器を端末に変更
2021/2/21	1.4	1.3 動作環境	OS バージョン変更
2021/7/25	1.5	3 エージェントインストールおよび認証の自動化	セクション追加
		2.1 エージェントをインストールする	【9】の手順を修正
2022/2/20	1.6	1.2 OS サポートポリシー	Windows 11 を追加
		1.3 動作環境	OS を追加、修正
2022/7/24	1.7	2.2 複数の端末にエージェントをインストールする	セクション追加
		1.3 動作環境	ネットワーク接続を更新
		1.5 MS-MDM 動作環境	
		1.3 動作環境	対応 OS を更新
2022/11/20	1.8	はじめに	全改修
		1.3 動作環境	OS の注記に Windows 11 追加
			ネットワーク接続 Wi-Fi を優先に変更
		1.5 MS-MDM 動作環境	
3.1 エージェントインストールおよび認証を自動化する	全改修		
2023/3/26	1.9	1.2 OS サポートポリシー	Windows 8.1 削除、修正
		1.3 動作環境	Windows 8.1 削除、Windows 10 更新
		1.1 概要	MS-MDM 機能のサポート終了の注記追加
		1.5 MS-MDM 動作環境	
		2 エージェントのインストール	
		4 MS-MDM の認証	
2023/6/6	1.10	1.5 MS-MDM 動作環境	セクション削除
		4 MS-MDM の認証	
		全体	MS-MDM 削除
2023/8/6	1.11	2.1 エージェントをインストールする	初期登録の手順、画面を追加
		1.3 動作環境	対象 OS を更新 S モードについて注記を追加 表内注記記載追加、表外注記削除・修正 リード文修正

日付	ver	変更箇所	変更内容
		1.4 動作環境 (Windows Server)	リード文修正 表外注記修正
		1 Windows クライアントについて	1.1 ~1.4 のリード文修正
		はじめに	名称・呼称、用語集を追加 商標登録修正
2024/1/14	1/12	1.3 動作環境	対象 OS を更新
		1.4 動作環境 (Windows Server)	セクション削除
		3.1 エージェントインストールおよび認証を自動化する	英語の言語コードを修正

はじめに

本マニュアルでは、KDDI Smart Mobile Safety Manager（以下、本製品と呼ぶ）の操作ほか、各機能の概要、画面の説明、設定操作について説明しています。

また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解のうえ、マニュアルをお読みください。

名称・呼称

本マニュアルに登場する特定の企業、人について、以下の定義で記載しています。

名称	説明
サービス企業	本製品を提供する企業。
管理者	本製品の管理サイト（機器の管理・運用を行う Web サイト）を運用する者。
端末使用者	本製品で管理している端末を使用する者。
システム管理者	企業の社内システム（サーバー・インフラなど）を管理する者。

注意・ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。

記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
[]	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
「 」	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
『 』	マニュアルや資料などの名称を示しています。
< >	キーボードなどのハードキー名称（スペースキーは〈スペース〉と表記）を示しています。

参照マーク

他のマニュアルや他のページへなどの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

用語集

不明な用語については、『よくあるご質問（FAQ）』を参照してください。

 <https://smsmfaq.smartmanager.jp/kddiproduct/ausl/web/knowledgeList.html?keyword=%E7%94%A8%E8%AA%9E%E9%9B%86%E4%B8%80%E8%A6%A7&searchMethod=0&searchCondition=0&searchCategory=1&searchItem=1&searchTag=1>

オプション機能

オプション機能は、オプション契約をした場合に使用できる機能です。

本マニュアルでは、オプション機能の説明の見出しに **オプション** (オプションマーク) を表示しています。



免責事項

- 本マニュアルは、ユーザー種別が [管理者] のユーザーを対象としています。[管理者] 以外のユーザー種別でログインした場合は、操作が制限されます。
- iPad OS の操作は iOS と同様です。差異がある場合は iPad OS 用の記載をしています。
- 画面上的のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。
- 本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。
- OS のバージョンやブラウザにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

商標登録

- Apple、iPad、iPadOS、iPhone、Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。
IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Chrome、Google Cloud、Google マップ、Google Play、Google Workspace は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

目次

1 Windows クライアントについて	7
1.1 概要	8
1.2 OS サポートポリシー	8
1.3 動作環境	9
2 エージェントのインストール.....	10
2.1 エージェントをインストールする	11
2.2 複数の端末にエージェントをインストールする	19
3 エージェントインストールおよび認証の自動化	20
3.1 エージェントインストールおよび認証を自動化する	21

1 Windows クライアントについて

1.1 概要

本製品は、専門の知識を必要とせずに、機器の管理・運用を行うサポートサービスです。Windows 端末にアプリ「KDDI Smart Mobile Safety Manager エージェント（以下、エージェントと呼ぶ）」をインストールし認証すると、端末の状態や位置情報を確認したり、管理サイトから端末のリモートロックやリモートワイプ（初期化）をしたりできます。

 管理サイトの操作については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』

1.2 OS サポートポリシー

本製品では、確実な製品の動作とセキュリティ機能の提供を目的として、以下の OS サポートポリシーを定めています。

- Microsoft の OS サポートポリシーに準拠。
- 最新対応 OS 追加に伴い、サポート対象外となった OS バージョンについては、サポート期限が切れた日から 1 年間に限り、お問い合わせには可能な限り対応いたします。ただし、動作保証や不具合対応はいたしません。
-  定期的に下位の OS バージョンのサポートを終了します。サポート対象外となる OS や端末を利用している場合は、OS アップデートまたは機種の変更をしてください。

サポート対象例	<ul style="list-style-type: none">● Windows 10：各エディション、バージョンで定められている期限までサポート● Windows 11：各エディション、バージョンで定められている期限までサポート Windows 8、Windows 7、Windows 8.1 のサポートは終了しました。
---------	---

1.3 動作環境

エージェントをインストール可能な OS と Windows 端末の動作環境です。

🔍 エージェントのリリース日から 180 日間は、180 日間にリリースされたすべてのエージェントがサポートされます。ただし、リリース日から 180 日を超えた場合は、180 日以降最初にリリースされたエージェントから 2 つ前のエージェントまでが、サポートの対象になります。

OS	Windows 10 Home (22H2 以上) Windows 10 Pro (22H2 以上) Windows 10 Education (21H2 以上) Windows 10 Enterprise (21H2 以上) Windows 10 Enterprise 2015 LTSC Windows 10 Enterprise 2016 LTSC Windows 10 Enterprise 2019 LTSC Windows 11 Home (22H2 以上) Windows 11 Pro (22H2 以上) Windows 11 Education (21H2 以上) Windows 11 Enterprise (21H2 以上) 🔍 32 ビット版と 64 ビット版に対応。 🔍 Windows 10 Home/Pro、Windows 11 Home/Pro は、64 ビット版 ARM に対応。ただし、同一ネットワーク内の機器情報を収集することができません。 🔍 Windows 10、Windows 11 の S モードには、対応していません。本製品を使用する場合は、S モードを解除してください。ただし、S モードは解除すると再度設定することはできません。S モードの詳細については、以下を参照してください。 🔗 S モードの Windows 10 および Windows 11 に関するよくあるご質問-Microsoft サポート
CPU	1GHz 以上の CPU
メモリ	1GB (32 ビット版) / 2GB (64 ビット版) 以上のメインメモリ
HDD	1GB 以上の空き容量
ネットワーク接続	3G、4G/LTE、5G または有線でインターネットへアクセスができること。 直接またはプロキシを介して管理サイトと HTTPS 通信 (443 番ポート) ができること。

2 エージェントのインストール

2.1 エージェントをインストールする

本製品はエージェントを介して Windows 端末の管理を行います。以下の手順に従って、エージェントのインストールを行ってください。

- [1] エージェントのダウンロードサイトのアドレスを赤枠内に入力し、[Enter] キーを押します。**
📌ダウンロードサイトのアドレスは管理者へお問い合わせください。
- [2] [ダウンロード(MSI)] をクリックします。**



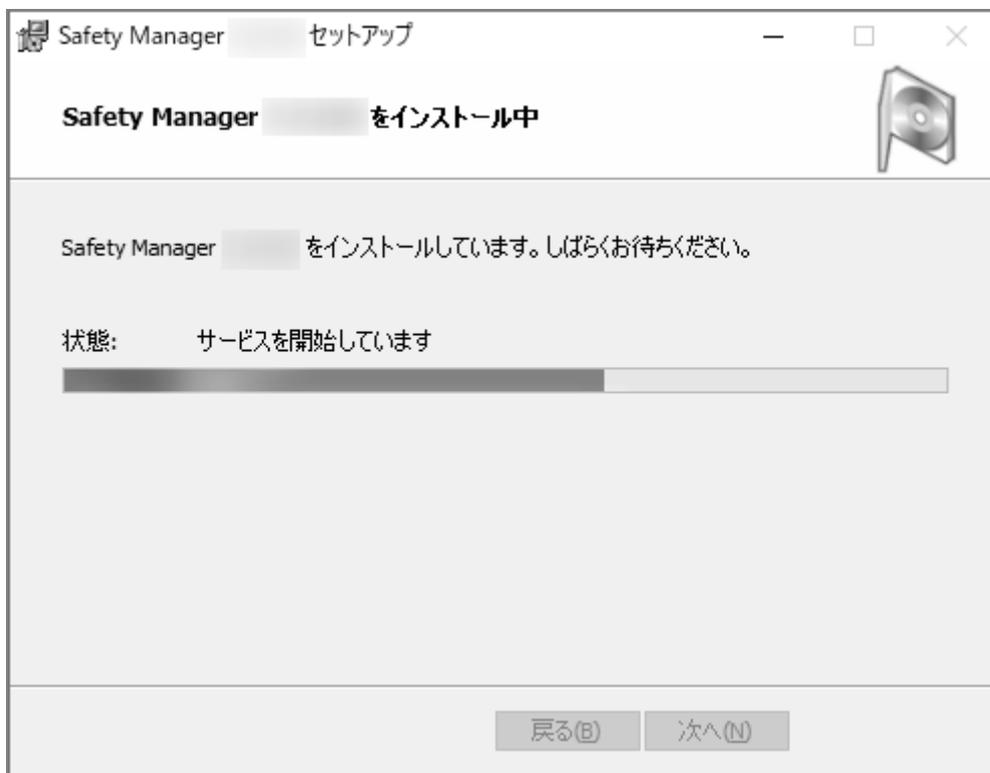
- [3] ダウンロード完了後、[V] → [開く] をクリックします。**



- 【4】 エージェントのインストールを開始します。利用規約に同意の上、「利用規約に同意します」にチェックを入れます。
- 【5】 [インストール] をクリックします。



- 【6】 インストールしています。しばらくお待ちください。



【7】 エージェントのインストールが終了しました。[完了] をクリックします。

☑ 「セットアップ完了画面」に手順【8】の「ライセンス認証画面」が重なって表示された場合でも、[完了] をクリックしてください。



[8] エージェントを使用するために認証を行う必要があります。

- ☑ 認証の方法により 2 通りの画面が表示されます。詳細は以下を参照してください。
- ☑ ベーシックパックプラスをご利用の方は、ユーザーID による認証はできません。
- ☑ 認証が完了すると、手順【9】～【13】の初期登録画面が表示されます。初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。
 - 🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」
- ☑ 初期登録が不要の場合は、ブラウザを閉じてください。

«企業コード、認証コードで認証する場合»

- ☑ (A) 「企業コード」と「認証コード」を入力し、(B) [認証] をクリックします。
- ☑ 「企業コード」と「認証コード」は管理者へお問い合わせください。

ライセンス認証 - Safety Manager

お手元の企業コードと認証コードを入力して
認証ボタンを押してください。

ユーザーID・パスワードで認証する

サーバーURL
https:// /rpc/

(A) 企業コード

認証コード

(B) 認証 キャンセル

«ユーザーID もしくはメールアドレスでログインする場合»

- (A) 「ユーザーID・パスワードで認証する」のチェックボックスにチェックを入れます。
- (B) 「企業コード」、「ユーザーIDもしくはメールアドレス」、「パスワード」を入力します。
- (C) 「認証」をクリックします。
- ユーザーID もしくはメールアドレス以外のライセンス認証を行う場合は、「ユーザーID・パスワードで認証する。」のチェックボックスを外してください。
- 企業コード、ユーザーID、パスワードは管理者にお問い合わせください。

ライセンス認証 - Safety Manager

お手元の企業コード、ユーザーID、およびパスワードを入力して
認証ボタンを押してください。

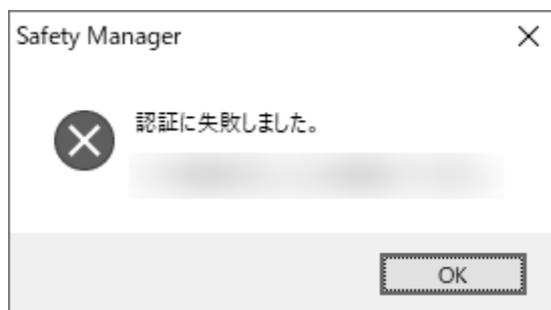
(A) ユーザーID・パスワードで認証する

サーバーURL
https:// /rpc/

(B) 企業コード
ユーザーIDもしくはメールアドレス
パスワード

(C) 認証 キャンセル

- 認証時に以下のエラーが表示される場合があります。
本エラーはモバイル回線（SIM）で接続しているときに起きることがあるため、認証時のみ Wi-Fi または有線で接続してください。認証後の同期などについては、モバイル回線での接続で差し支えありません。

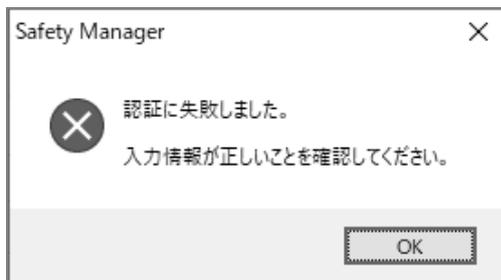


各状況によって、認証時に以下エラーが表示される場合があります。

- ライセンス数の上限を超えた場合



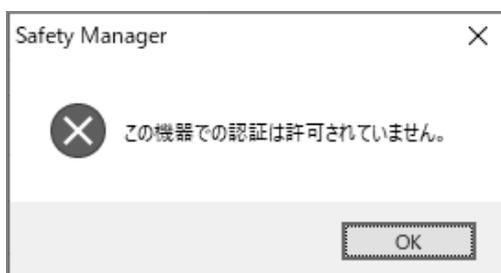
- 認証情報に不備がある場合



- ユーザー認証を試みた機器が、組織に紐付いたライセンス認証待ち機器の場合



- ライセンス認証待ち機器のみを認証対象として設定しているのに、ライセンス認証待ち機器が存在しない場合



【9】 社員番号、姓、名を入力します。

【10】 [次へ] をクリックします。

⇒機器にユーザーが紐づきます。

☑すでにユーザーが端末に紐づけられている場合は、ユーザーが紐づけられているメッセージが表示されます。

初期登録

ユーザー登録

9 社員番号

姓

名

10 次へ

KDDI Smart Mobile Safety Manager ver. ©2011 | 利用規約 | プライバシーポリシー

【11】 必要事項を選択、入力します。

【12】 [次へ] をクリックします。

☑あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

☑管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります

初期登録

機器情報登録

11 分類 (未分類)

自由入力項目

12 次へ

KDDI Smart Mobile Safety Manager ver. ©2011 | 利用規約 | プライバシーポリシー

【13】 [OK] をクリックします。



2.2 複数の端末にエージェントをインストールする

外部ツールで作成したマスターイメージを利用して、複数の端末にエージェントをインストールすることができます。複数の端末をインストールする場合は、インストール手順が省略できますので、本機能を使用してください。

「エージェントをインストールする」の手順【1】～【7】を行った端末を親機として、子機にコピーします。すべての端末にコピーが完了したら、手順【8】以降のエージェント認証を親機、子機ともに行います。

- ☑ エージェント認証まで完了している親機を子機にコピーすると、管理サイトで同一機器と判定され、認証機器数が増えない場合があります。親機はエージェント認証をしていないものを使用してください。
- ☑ 管理サイト上で同じ「コンピューターSID」の機器が存在する場合、同一機器と判定され、認証機器数が増えない場合があります。コピー後の各端末の「コンピューターSID」は、一意の値となるように作成ください。
- ✎ 「コンピューターSID」が一意の値となる作成手順については、コピーに使用する外部ツールの使用方法を確認してください。

3 エージェントインストールおよび認証の自動化



- エージェントのインストールおよび認証を自動化すると、利用規約を確認することができず、インストールおよび認証が完了します。
自動化した時点で、利用規約を同意したとみなします。事前に以下の URL から利用規約を確認してください。

 <https://ausl.smartmanager.jp/help/terms>

3.1 エージェントインストールおよび認証を自動化する

エージェントのインストールおよびエージェント認証自動化の手順についての説明です。

【1】 メモ帳などのテキストエディタを起動します。

【2】 以下の文字列をテキストエディタに入力します。

```
msiexec /i "%~dp0¥インストーラー名" /qn COMPANY_CODE=企業コード CERTIFICATION_CODE=認証  
コード TRANSFORMS=言語コード
```

✎ 「インストーラー名」「企業コード」「認証コード」「言語コード」は、任意の値を入力してください。「入力例」を参考にして、文字列を作成してください。

✎ 改行コードは、絶対に入力しないでください。改行コードがあると正常に動きません。

【3】 拡張子を.bat (バッチファイル) にして、ファイルを保存します。

✎ 保存先は、任意の場所を指定してください。

【4】 以下を参照してダウンロードしたインストーラーを手順【3】のバッチファイルと同じ場所に配置します。

📄 「エージェントをインストールする」11 ページ

【5】 バッチファイルを右クリックして、[管理者として実行] をクリックします。

⇒ エージェントのインストールおよび認証が自動的に行われます。進行状況は、表示されません。

✎ インストール完了後、「企業コード」「認証コード」を入力する必要はありません。

◆ 入力例

- インストーラー名：KDDI_SMSM_Agent.msi
- 企業コード：company1
- 認証コード：auth1
- 言語コード：日本語

```
msiexec /i "%~dp0¥KDDI_SMSM_Agent.msi" /qn COMPANY_CODE=company1 CERTIFICATION_  
CODE=auth1 TRANSFORMS=:1041 LANG=ja-JP
```

✎ 「インストーラー名」は、手順【4】で配置するインストーラーのファイル名です。

✎ 「企業コード」「認証コード」は、管理者へお問い合わせください。

✎ 言語コードは、使用する言語を「言語コード」から選択してください。

✎ インストールは手動で行い、「企業コード」「認証コード」の入力のみを自動化したい場合は、文字列から「/qn」が入っていないバッチファイルを作成してください。

◆言語コード

言語	コード
日本語	:1041 LANG=ja-JP
英語	:1033 LANG=en-US
中国語（簡体字）	:2052 LANG=zh-CN
中国語（繁体字）	:1028 LANG=zh-TW